
第6回 日野市介護保険運営協議会
第6回 日野市地域包括支援センター運営協議会
第6回 日野市在宅高齢者療養推進協議会
第6回 日野市地域密着型サービス運営委員会
要 点 録

[日 時] 令和3年1月29日（金）18：30～20：30

[場 所] 日野市役所5階 505会議室（リモート併用開催）

[内 容]

【開会のあいさつ】

≪地域包括支援センター運営協議会≫

【報告】（1）自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議体制構築支援モデル事業実施報告

≪在宅高齢者療養推進協議会≫

【報告】（2）第3回在宅高齢者療養推進協議会検討部会の報告

≪地域密着型サービス運営委員会≫

議題なし

≪介護保険運営協議会≫

【議事】（3）第4期日野市高齢者福祉総合計画について

【資料】

【当日配付資料】

なし

【事前送付資料】

- ・議事次第
- ・第5回協議会 要点録（案）（★）
- ・日野市自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議について
- ・第4期日野市高齢者福祉総合計画（素案）パブリックコメント結果報告書（案）（★）
- ・第5回介護保険運営協議会（R2年12月11日）以降の第4期日野市高齢者福祉総合計画（素案）の策定経過について
- ・第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）期間における介護保険料等について

（★）の資料については、HPには未掲載

[議事要旨]

開会

- ・委員数 17人中15名出席。半数以上の出席のため会議成立。
(事務局として保険年金課長 出席)
- ・傍聴者：3名
- ・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。
- ・議事録については要点録として公表させていただく。

[本日の進め方について]

会長：今日は、介護保険運営協議会において議事が1件、地域包括支援センター運営協議会と在宅高齢者療養推進協議会において報告が各1件、地域密着型サービス運営委員会についての議題はなし。議事の進行は、報告案件である地域包括支援センター運営協議会と在宅高齢者療養推進協議会を先に行い、その後、議事案件である介護保険運営協議会を行いたい。

《地域包括支援センター運営協議会》

自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議体制構築支援モデル事業実施報告（報告）

(1) 事務局より説明

(2) 質疑応答

委員：補足すると、現在、包括支援センターでこれから様々なケースに対応するため動いているところである。コロナ禍で外出控え等フレイルが懸念される方を対象に少しでもその方々が自分らしく自立した生活を送れるようにしたい。課題としては、受け皿が無い、地域に資源が無いということがあるが、その課題を吸い上げて地域ケア会議や第2層協議体で仕組みを作り上げていくことも一つの目的であると考えている。

委員：事務局の説明の中で「地域ケア会議の対象者となる方」に「やる気のある方」という言葉が気になるが、あえてここで言う意味は何か。

事務局：自分の状態を改善する気持ちがないと、会議で発言したりするのは難しく、会議の趣旨を理解していただき、自分の発言が地域課題の解決につながることを理解してもらった上で参加してもらいたいので、「やる気のある方」と定義している。

委員：自分も介護サービスを提供している中で、サービス利用者でそこまでポジティブな方はさほどいないのではないかと思う。その方々に目標設定をして課題解決に向けていくので、「やる気」という表現はどうかと思う。それがなくてもそこに目標を見つけられるような地域ケア会議になるのが良いと思う。

事務局：当事者の方なので、この会議の趣旨を理解してもらうのは大切。ただ、「やる気のある方」という表現は変えさせていただき、「この会議の趣旨を理解し、賛同していただける方」に修正する。

《在宅高齢者療養推進協議会》

第3回在宅高齢者療養推進協議会検討部会の報告について（報告）

- (1) 事務局より説明（口頭報告で配布資料なし）
- (2) 質疑応答 なし

《介護保険運営協議会》

第4期日野市高齢者福祉総合計画について（議事）

- (1) 事務局より説明
- (2) 欠席委員からの意見紹介
 - ・介護保険料については、パブリックコメント結果報告書の保険料に関する意見、それに対する回答を確認し、保険料については計画案の内容でやむを得ないと思った。
 - ・計画全体を通して専門用語や横文字が市民の立場からするとわかりづらいと感じた。もう少し簡易な表現にしたり、横文字はカッコ書きで日本語表記を加えるなどすると市民にもわかりやすくなるのではないかと思った。
 - ・在宅療養関係については、どのような施策があるのかをもう少し詳しく出せたらよかったですのではないかと思った。
 - ・高齢者が気軽に参加できるスポーツ事業の推進については、スポーツをする場という観点でまだ進展がないと感じている。やりたいスポーツがあっても身近にできる場所がないことが多いので、スポーツをできる場所がもっと必要と思う。

(3) 質疑応答

会 長：市民説明会では19名の参加者があり、計画に対しては74件のご意見が寄せられている。特に介護保険料のご意見は大変切実なところである。その所も踏まえて委員の皆さんにはしっかりとパブリックコメントを受けて積極的に議論をして欲しい。

委 員：内容ではなく、日程について、発言をしたい。ホームページに素案が掲載されたのは、市民説明会の前日であったため、市民説明会に参加する方は素案を十分に読み込めず参加せざるを得なかった。1日目の説明会では、「パワーポイントでの説明でよくわからない」という参加者からの声も出ていた。今回の日程には無理があったと思う。次回計画を策定する時は、素案をホームページ等に掲載した後、市民が素案を読む時間を経た後に説明会を開催してもらいたい。

事務局： ご意見として頂戴し、次回計画策定の参考とさせていただきます。

委 員：パブリックコメント結果報告書の通し番号1については、テーマが介護保険料となっているが、ここで述べられているのは、「高齢者の生活を保険料負担の増加で足元から安心を崩されてしまう。解決の道は介護保険財政を支える国や都の負担を増やす制度改革抜きにはない」というように介護保険制度全体を言っているのだと思う。市はどのようにこれを捉えるか。また、市長会を通じて国や都に要望を出しているということであるが、具体的にどのような形で行っているのか。

事務局：市長会からの要望は毎年、年に1回実施しており、その中に介護保険に関する要望を入れている。その他に、介護保険担当課長会があり、ここでも都を通して国へ要

望している。

委員：介護保険制度全体の在り方について、本来どうあるべきか等、協議会でも論議し、様々な場で論議する場を増やすことで全国的に声が大きくなっていかないと介護保険制度はこの先不安である。

会長：今の委員の発言は他のパブリックコメントの意見としても非常に重要であり、国等に積極的に働きかけて行くこと、意見を集約していくことが必要である。本計画を市長等に報告する際に制度運用や改変等について、市長からも国へ要望していただけると幸いである旨を申し伝えるようにしたい。

委員：今回のパブリックコメントを読んで、高齢者の生活が厳しい現状は理解できる。自分は第2号被保険者の立場として申し上げますと、コロナ禍において大変な生活を強いられるのは、高齢者だけではない。自分が第1号被保険者となった時の日野市の介護保険制度が心配である。また、もっと若い世代がこれから安心して暮らして行くために、この介護保険制度が持続して行くためにはどうあるべきかを考えて欲しい。

委員：介護保険料について、市民からこれだけ意見等が来ているので、現状や未来の視点についてもより丁寧にわかりやすく説明をして行った方が良いと思う。

委員：パブリックコメント結果報告書の回答について、市民にとって切実な問題があるので、回答内容に修正を加えた方が良い箇所がある。

委員：パブリックコメントでこれだけ多くの意見が集まっているということは皆さんの様々な思いがあるからだと思う。その思いに少しでも答えることができるようこの協議会を通して議論ができれば良い。またサービスの受け手が無いという話もあるので、他のサービスも今後検討して行けたら良いと思う。

事務局：介護保険制度については、皆様の意見をいただきながら、少しでも充実した方向に行きたいと思う。

委員：今回のパブリックコメントを通じて感じたのは、介護保険制度について40歳以上の第2号被保険者の方々の関心が高齢者に比べて低いと思う。この介護保険制度を持続可能なものとして行くためにも若い世代にも広く周知することが必要である。

委員：国保等医療保険は市民の声を議員が代弁する機会があるが、介護保険についても同様な事が必要であると思う。社会活動にするためには、政治的な働きも活用し皆で議論できるようになると良いと思う。

会長：事務局から説明のあったパブリックコメント結果報告及び本日の議論を基に、計画素案の修正を行い、計画案の確定とすることで承認したいがいかがか。

（全員、承認）

会長として市長へ委員の皆さんからいただいた意見を伝えること、今回のスケジュールの問題、計画をどうわかり易くするか等含め次期計画策定の際には、これらを踏まえつつ進めるということを条件に承認する。

[その他全体を通しての質疑について]

なし

[健康福祉部長からの挨拶]

これまで、介護保険運営協議会において計画案をまとめて頂いたことに対して感謝する。

いただいた貴重なご意見については、今後活かしていく。

介護保険制度、介護保険料の設定については、現制度の中で今後も事業を継続していくという使命を受けた中での苦渋の決断だった。今後、様々な状況の変化の中で次の計画改定に向けて課題もあると思う。引き続き、ご理解、ご指摘等を賜りたい。

[事務連絡]

- 本日の協議会で計画案が確定
- 計画の最終確定は、3月の市議会で可決されてからとなる。
- 次回協議会 2月22日（月）

閉会